

第64回「日本医労連定期大会 伊東」に参加して!!



写真右から：中野新委員長・三浦新書記長・山田前委員長

7月23日(水)～25日(金)に伊東温泉ハトヤホテルで、開催された定期大会に参加してきました。7全国組合・47都道府県医労連から代議員180人・傍聴73人・役員など合わせて317人の参加で活発な討論、今期の医労連方針を補強しました。夜勤改善・大幅増員に向けて今年で2年目に入る署名活動、2013年度は45万筆にとどまりましたが、多くの仲間が外に打って

出て宣伝活動をしました。今年は職場の仲間にも署名の必要性を再度学習会で徹底し100万筆目指して奮闘しましょう。

厳しい医療・福祉の現場の中で働く労働者の生活を守ることが、国民の医療・福祉を守ることにつながるものです。地域からも発信し私たちの運動を広げていきましょう。

今大会で4年間委員長を務めた山田真巳子さんが退任され、中野千賀子さんが委員長に、全医労出身の三浦直子さんが書記長になりました。今年も全力で職場環境改善、働き続けることのできる職場目指して奮闘しましょう。

<http://oita-irouren.net/>



今後の予定



大分県医労連 署名行動

とき 9月6日(土) 13時30分～
ところ 大分市 フォーラス横

第56回定期大会

とき 9月15日(月) 10時～
ところ 別府市「花菱ホテル」

日本医労連共済 共済推進対策会議

とき 9月28日(日) 13時30分～
29日(月) 12時
ところ 東京ベイ舞浜ホテル

大分県医労連 青年学習交流会

とき 10月3日(金) 13時～
4日(土) 12時
ところ 城島高原ホテル

労働組合とはなんぞや?

組合というのは労働環境の整備をし、労働者が働き続けられることができるように運動していくところです。しかし運動をしていくためには仲間がみんなで動くことが大切です。そのためにはみんなが目指す方針・方向性が必要です。

今回の定期大会では・・・
1、憲法改悪を阻止し、社会保障の拡充で労働者と国民のいのちと暮らしをまもり、安全・安心の医療・介護を実現する

2、人間らしく暮らせる賃金改善、健康で働き続けられるための夜勤交代制・長時間労働の規制・保護と大幅増員の実現

3、20万人医労連の建設・組織強化と共済拡大で、医療・福祉労働者の権利を守り、要求を前進させる。という運動の基調が出され、この基調に基づいて私たちは運動を進めていくのです。大分県医労連でもこの方針に基づきこの1年の運動の核を決めていきます。

- 1、署名・宣伝活動の強化
- 2、各単組での女性部活動の強化
- 3、青年部活動の強化

以上の3点を掲げ大分県内での活動を進めていきたいと思っています。まずは地元からの発信が大切です。みんなが気楽に集えて話せること、また来たい、行ってみたいと思える学習活動やレクレーションの企画を考えていきましょう。目指すは、大分県医労連2000人です!!

次回に続く・・・